

ほけもん

240 タクシー



『ホタル』

持留地区にある『ホタルの里』へ撮影に行ってきました。午後6時30分頃、スタンバイを終え「あとは出てくるのを待つだけ・・・」そう思っていたものの、1時間ほど待機しやっと1枚。その後も追いかけてきましたが、中々難しかったです。「来年はもっと早い時期に撮影しよう。」と反省しました。(平成29年6月5日撮影)

今月の表紙

薩摩郷句 兼題『頭』

血頭(ちまね)が 予報(よほう)士(し)よつも 当た(あた)い雨(あめ)
 (唱) 明日(あした)ん遠足(えんそく) 雨(あめ)じやち婆(ば)様(さま) 諸木(しよも) 小春(こはる)
 何(なに)か言(い)ちや 頭(びん)ごなしの くずれ亭主(ていしゆ)
 (唱) また始(は)まった 言(い)放(はな)題(だい)で言(い)わせつ 上窪(かみくぼ) 小絵(こえ)
 連休(れんきゅう)日(ひ) 財布(さいふ)あ空(あ)けなつ 痛(いた)て頭(びん)
 (唱) 年(とし)金(かね)日(ひ)すや まだ後(あと)十日(じふにち)
 先生(せんせい)も 頭(びん)て来(き)ちよらい 悪戯(わるこつ)坊主(ぼうしゆ) 北村(きたむら) 虎王(こおう)
 (唱) 叩(たた)えつくれ言(い)う 親(おや)とま居(まゐ)らじ 西ノ園(にしのみぞの)ひらり
 罪(つみ)な無(な)て 頭(びん)げし叱(ち)つ 父(ちち)な後(ご)悔(かい)
 (唱) 言(い)分(ぶん)も聞(き)かじ 短気(たんけ)でごめん 上村(かみむら) 牛歩(うしほ)
 席題(せきだい)が 頭(びん)て浮(う)かばじ 泣(な)つかふ
 (唱) 破(やぶ)れかふれで 大(お)概(がい)てげ投(な)句(く) 二見愚楽満(にけんごらくまん)
 頭(びん)ん良(よし) 血統(けつどう)じや兄(あに)弟(てい)とも 偉(えい)れ学(がく)者(しや) 満右(まんご)うらら
 (唱) サラブレット(サラブレット)ん 血統(けつどう)書(か)付(つ) 満右(まんご)うらら

大崎短歌会 兼題『笑』

わけもなく はじけるように 笑い出す
 少女(しょうじよ)らにつれ 私(わたし)も笑(わら)う 大和(おほなご)てるみ
 笑(わら)みにたえし 田(た)の神(かみ)様に 守(まも)られて
 今年(ことし)の稲(いね)も 育(う)ちゆくらむ 長重(ながしげ) 悦子(えつこ)
 乳呑(にゅうどん)児(こ)は 何(なに)を夢(ゆめ)見(み)む 片醫(かたい) 坂元(さかもと)つる子(こ)
 小(こ)さき指(ゆび)は 固(かた)く結(むす)んで
 曲(ま)げ伸(の)ばし うま(う)くできぬと 大笑(おほわら)い
 むかし乙女(おんな)の 体操(たいそう)仲(な)間(ま) 穂園(ほのぞの) 芳江(よしえ)
 山笑(やまわら)う 枯木(かき)に緑(ろく)の 芽(こゝろ)の出(い)でて
 いくつもの峰(みね) 奥行(おくゆき)きみせる 兄玉(あにたま) チツ

大崎俳句会

玻璃戸(はりど)染(ぞ)め 色(いろ)とりどりの つつじかな 三浦(みやう) 倫子(りんこ)
 軒下(のき)に 雀(すずめ)親(おや)しき 春(はる)の朝(あさ) 宮下(みやの) のし
 春北風(はるきたかぜ) 夜(よ)の沈黙(しんもく)を 打(う)ち鳴(な)らし 宮脇(みやわき) 洋子(ようこ)
 生徒(せいと)らの 弾(はじ)む声(こゑ)掛(か)け 五月(ごご)かな 桑原(くわはら) 正樹(まさき)
 一木(ひとき)の ものかと思(おも)ふ 枯落葉(からくわ) 坂元(さかもと)つる子(こ)
 救急車(きうきく車) 右折(みぎまが)して行く 花月夜(はなげつや) 内村(うちむら)美恵子(みえこ)

人権啓発シリーズ

～子どもの人権～ 子どもの変化を見逃さないで

家庭で 一人の人間として尊重

子どもも大人と同じように人権を持つ一人の人間です。頭ごなしに否定したり、大人のルールを押し付けるのではなく、子どもの意見や希望、子ども自身の考えを尊重しましょう。

社会で いじめは絶対許さない

いじめは、人間の尊厳、人権侵害に関わる重大な問題で、絶対に許されない行為です。子どもは社会の財産です。いじめにより辛い苦しい思いをしている子どもを救うために、学校・

教職員だけではなく、保護者・町民一人ひとりが真剣にこの問題と向き合い、社会で対応することが必要です。

地域で 見逃さないで “SOS”

虐待は、家庭で行われることが多く発見することは困難です。周りに虐待を受けたと思われる子どもがいたら、迷わずに町の窓口や児童相談所に相談してください。その勇気が子どもを救うきっかけとなるかも知れません。よその子だからと無関心にならず、地域で子どもたちの健やかな成長を見守っていきましょう。